

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和2年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- ▶ 令和元年度は、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

## □ 事業内容

### 国産木材を活用した子育て層向け備品等の整備事業

- 子育て層が多く訪れる保健福祉センター内で、子どもが利用する空間に国産木材を活用した備品等を配置することで、子育て層に木の良さを実感してもらうとともに自然や環境への興味・関心を高め、子育て層への木材の魅力を発信すべく環境整備を行った。

【事業費】415千円（うち譲与税415千円）

【実績】簡易フローリング1,800×1,800mm 2か所

絵本棚 3台

木材玩具 5種 3セット

国産材まな板(親子クッキング事業) 計23枚 等



## □ 事業スキーム

随意契約(比較見積)

## □ 工夫・留意した点

- 乳幼児健康診査時等、3歳児くらいまでの子どもが興味を持って遊べる木材玩具を中心に物品選定を行った。
- コロナ禍の状況により、常用する物品等、一部設置延期を行っている物品もあるが、事業実施時に消毒等の対応を行いながら使用している。

## □ 基礎データ

①令和2年度譲与額	232,924千円
②私有林人工林面積(※1)	0.00ha
③林野率(※2)	0.00%
④人口(※3)	2,691,185人
⑤林業就業者数(※4)	62人

※1：「森林資源現況調査(林野庁、H29.3.31現在)」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より